

「ICTイノベーションセミナー

～ スマートシティ向けを中心としたデータ連携基盤FIWARE ～」を開催



北陸情報通信協議会は、令和3年10月28日(木)、ICT研究開発機能連携推進会議との共催により、日本電気株式会社クロスインダストリー企画本部 共通技術部 諸角 有紗氏を講師に招いて、ICTイノベーションセミナーを開催しました。

最初に、丹 康雄イノベーション部会長(北陸先端科学技術大学院大学 副学長 教授)から「今年度のイノベーション部会は、分野間連携をテーマに据えて活動を行っている。スマートシティ/スーパーシティ等の非常に大きな括りの中でのイノベーション化を進めるには分野間連携は必須である。それぞれの分野が持っているデータ等の分野間連携を進めることで、効率化が図れるとともに、新たなサービスが生まれると考えられている。今回の講演でデータ連携基盤であるFIWAREの本質は何かを感じて欲しい」と挨拶がありました。

続いて、講師の諸角氏から「スマートシティ向けを中心としたデータ連携基盤FIWARE (ファイウェア)」と題して講演が行われました。

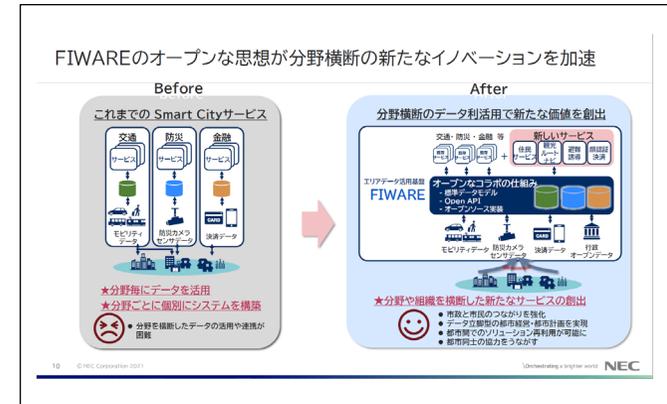
講演では、次世代インターネット技術における欧州の競争力強化という観点から開発が始まった経過や5chapter・約29種のモジュール群を用途に合わせて自由に組み合わせ利用が可能である点やFIWAREを使うことで今まで困難だった分野横断のデータ連携が容易になることで新たな価値の創出や都市間の連携ができるようになる特徴について説明がありました。

また、高速なデータ検索が可能、複数のプラットフォームを使用することで連携が容易にできるなどの技術的な特徴について述べられるとともに、日本で導入されているFIWAREの導入事例について紹介があり、講演を終了しました。

当日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、Web方式での開催となり、約25名が聴講しました。



【Web方式セミナーの画面】
※画面右上が、講師の「諸角 有紗氏」



【セミナー資料・抜粋】